

宗史蹟 親鸞聖人岡崎草庵跡 真宗大谷派（東本願寺）岡崎別院



第6号
(新春特別号)
平成23年
(2011年)
1月・2月・3月
発行・編集
岡崎別院
輪番 福田 大
印刷
滋賀凡愚舎

宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌 の年にあたって



別院本堂

新春のお慶びを申し上げます。いよいよ宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌の年となりました。

この法要を勝縁とし、各地より真宗本廟（東本願寺）に多くの方々が御参詣のことと拝察いたします。

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡の別院として多方面からの御協力と御厚情を賜り、約二年間にわたり整備を進めてまいりました。その現状と当院の由来について御案内させていただきます。

江戸時代に流布した親鸞聖人の伝記である『親鸞聖人正統伝』は、二十九歳で比叡山を降り、吉水の法然上人の門に入った聖人は、ここ岡崎に庵室をしつらえ、吉水の法然上人のもとに通ったと伝えていきます。また承元の法難に連座して越後に流され、赦免ののち関東での生活を經て、帰洛した親鸞聖人が最初に住んだのも、この岡崎の草庵であったといわれます。



八房の梅



鏡池（姿見の池）



山門（清澤満之先生50回忌法要）

当時の京都周辺の人々が、聖人を慕って「親鸞屋敷」と呼んだ草庵跡と伝えられるこの地に、享和元（一八〇一）年に東本願寺第二十代達如上人（一七八〇～一八六五）と御門徒によって現在の本堂が創建されました。

明治九（一八七九）年に岡崎別院と改められ、同二十二（一八八九）年には新門の学問所である御学館が移築されました。

「清池館」（現在の輪番所・大谷専修学院別科生の部屋）と命名された御学館では、彰如上人（句仏上人）が学ばれ、同二十四（一八九一）年には清澤満之先生が主任に任じられました。また大正五（一九一六）年には金子大榮先生を中心に学生の勉強会である「鏡池会」が、当院を会場として発足しました。この会にはのちに曾我量深先生も参加されたと記録にあります。当院において厳修された清澤満之先生の五十回忌法要の写真が残されています。

本堂の西側の石柵で囲われた小さな池は、「鏡池」、また「姿見の池」と呼ばれます。親鸞聖人が越後配流のおりに姿を映して名残を惜しんだ池と伝えられています。また「鏡池会」も機関誌の「鏡池だより」もこの池の名に由来しています。またその西側には「八房の梅」があり、これは聖人お手植えの梅の木の由緒を伝えるもので、現在次の世代を担う「八房の梅」を生育しているところでもあります。

庭園と茶室について



翠雲亭



必度橋

茶室は、達如上人により本堂とほぼ同じ時期に創建されたと伝えられ、その当時の前大徳寺宙宝禅師の扁額「翠雲」を掲げ、「翠雲亭」と呼ばれていました。

当時、二階建ての茶室である「延賞台」が池の西側にあり、延賞台八景として幾多の詩歌にうたわれていました。が、惜しくも第二室戸台風で倒壊し、現在はその跡地として記されているばかりとなりました。

池の中央には、朱塗りの橋「必度橋」が架かり、庭園に一層の趣を感じる事ができます。

「必度橋」は大谷専修学院元院長信國淳師により命名されました。朽ちていたこの橋も、二〇〇九年六月十六日に、山城二組の寺院御住職や御門徒の手で足場が組み立てられ、二〇〇九年七月三十一日に渡り初め式を行いました。

岡崎別院 輪番 福田 大

真宗本廟（東本願寺）での宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要期間中、お一人でも多くの方々に当院に御参詣いただきたい一念で、多方面からの御懇志により、整備を進めてまいりました。宗祖にとつて御縁の深い「親鸞聖人岡崎草庵跡」の当院に御参詣を賜りますよう、職員一同お待ちいたしております。

なお、京都駅および本山（東本願寺）からの交通アクセスを下記に載せてありますので、御参照いただきますよう、なにとぞお願い申し上げます。

岡崎別院 責任役員（圖重寺住職） 小山 洋

本年御遠忌をお迎えするにあたり、多くの方々に岡崎別院整備に携わっていただきまして、こころ、厚くお礼申し上げます。

私、当院に係わらせていただくものとしたしまして、お一人でも多くの方々に、美しくなりました当院に御参詣いただきたい思いでいっぱいでございます。

各地より大勢の方々が本山に御参詣されることと思えます。その折には当院近辺を散策されてはいかがでしょう。

承元の法難の近因ともなりました安楽、住蓮で知られる安楽寺や法然院などもございます。どうぞ御遠忌を機縁に岡崎別院まで足を伸ばしていただければありがたいこととございます。

京都教区山城第一組 磯野 淳

ここ岡崎別院は、聖人が比叡山をおりられて吉水の法然上人の下に通われたところ、お住まいになられた地と聞いております。そういった親鸞聖人の縁の地である岡崎別院に対して、山城一組各寺院は、山城一組・二組の寺院の真宗聞法の道場と位置づけ、岡崎別院奉賛会を通して護持に微力ながらお手伝いさせていただきます。

ただ単に建物を後世に伝えるだけの護持ではなく、お念仏の声を伝える護持を行い、また多くの御門徒様と御一緒に聞法と研鑽を積ませていただきたいと思っております。

京都教区山城第二組 菅原 信顕

組長（澄江寺住職）

岡崎別院は吉水時代の親鸞聖人御旧跡として知られています。が、八〇〇年程前に聖人が居住された旧跡というだけではありません。聞法求道の原点の地として聖人以来今なお受け継がれている大切な聞法道場であり、ます。彰如上人が学ばれ、金子・曾我両師をはじめとする幾多の先達が集い、現在は組織化活動の場であり、次の宗門を担う教師養成の場となっております。

そのような大切な岡崎別院に、このたびの御遠忌を御縁に全国の御同朋が御参詣賜る日を心よりお待ち申し上げます。

岡崎別院の所在と周辺のご旧跡



京都駅・真宗本廟（東本願寺）から岡崎別院までの交通便（アクセス）

- 東本願寺（烏丸七条・烏丸六条）から
京都市営バス 5番 東天王町で下車
- 京都駅から
京都市営バス 100番か5番 東天王町で下車
- 京都市営地下鉄利用で京都駅から
国際会館行方面で丸太町駅下車
烏丸丸太町より京都市営バス 204番か93番
(錦林車庫行) 岡崎神社前(岡崎別院前)で下車
- タクシーにご乗車の場合
東本願寺から「岡崎別院」まで約20分

* 親鸞展（2011年3月17日～5月29日）会場の京都市立美術館より当院まで徒歩15分程度です。
なお、当院には大型バス4台、乗用車15台が置ける駐車場がございます。
* 別院での宿泊は2名様～10名様程度可能ですが、素泊りで貸布団代として1泊¥1,800となります。なお1か月前までに左記まで御相談ください。

〒606 8335

京都市左京区岡崎天王町二六番地

電話（〇七五）七七一 二九二一

真宗大谷派（東本願寺） 岡崎別院